

No.	⑰	分類	3-(2)-ア	資料名	みんなちがって みんないい	学年	3・4年	領域	道徳	2-(3)
-----	---	----	---------	-----	---------------	----	------	----	----	-------

1 ねらい

- 人はみんな違って誰一人同じ人はいないことを理解し、違いを認め合い、自分も友だちも大切に、よりよい人間関係を築こうとする。

2 趣旨

- 「みんなちがって みんないい」は、違いを認め合い、一人一人の人権を尊重し合うことをねらいとし、あらゆる学習場面で活用できる。

3 配慮事項

- 顔写真に注目させる際は、学級の誰と似ているなどの興味本位の発言ではなく、展開例を参考に目的意識をもって写真を見るように指導する。

4 展開例

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
1 写真を見て、気づいたことを考える。 写真を見て、気づいたことを発表しよう。 ・肌の色が違う。 ・みんな子どもだな。 ・みんな笑顔だな。 ・外国の子どもがいる。 ・いろいろな服を着ている。	・顔の表情や肌の色、服装などに着目させることにより、共通点や相違点など気づいたことを発表させる。 ・児童からの発言を整理しながら、誰ひとり、同じ人はいないことに気づかせる。
2 グループで、違いについて話し合う。 自分と友だちとのちがいについて考えよう。 【外見】 ・みんな同じ顔や体つきだったら、誰かわからなくなるから。 【性格】 ・違っての方が楽しいから。 【勉強】 ・教え合いができるから。	・一人一人の外見や個性、能力が違ってることから、その多様性の楽しさやすばらしさに気づかせる。 ・違いが外見だけの発表になった場合は、性格などの内面にも目を向けさせる。 ・児童から出された違いのすばらしさを板書し、学級はたくさんの違いからなる集団であることを押さえる。
3 よりよい人間関係を築く方法を話し合う。 自分と友だちのちがいを大切にする方法を考えよう。 ・助け合う。 ・悪口を言わない。 ・友だちの頑張りを応援する。 ・間違ったことをした人には注意をする。 ・自分のよさを認めてもらう。	・それぞれの児童が、すばらしい個性をもっていることを確認し、そのすばらしさを認め合う方法について考えさせる。 ・自分も友だちも、世界に一人しかいない大切な存在であることを踏まえ、よりよい人間関係を築いていこうとする態度を養う。